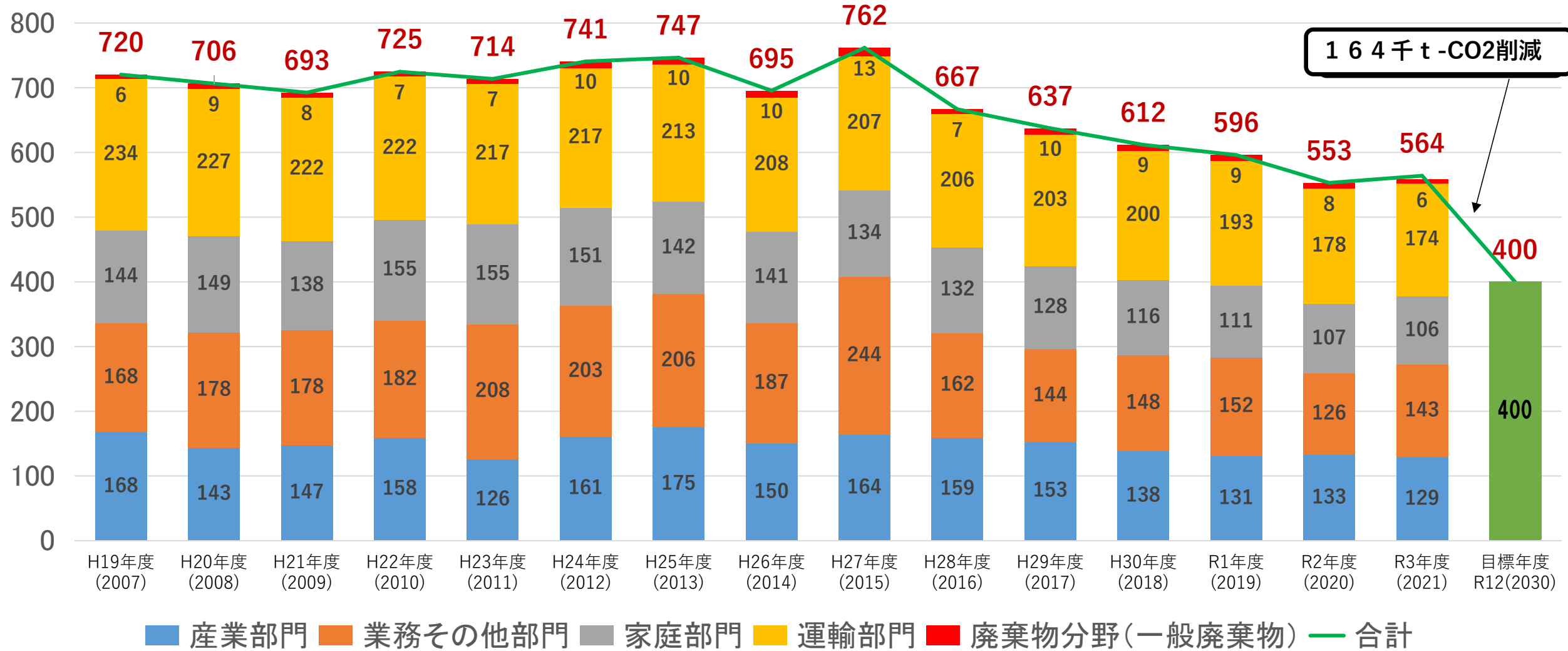


令和6年度 環境施策の進捗状況

環境省自治体排出量カルテによる高山市のCO₂排出量の傾向把握と目標

令和3年度 564千 t -CO₂ ⇒ 目標年度（令和12年度）400千 t -CO₂ あと29.1%削減

部門・分野別 二酸化炭素排出量の経年変化（単位：千t-CO₂）



1. 自然との共生

1 自然公園に関すること

○内 容 自然公園の保護と利用の両立を図るための様々な取り組みを実施
国立公園、県立自然公園等の管理

乗鞍岳、県有登山道管理、中部北陸自然歩道管理

乗鞍山麓五色ヶ原の森の運営・管理

御嶽山の国定公園化の推進

○実 績 乗鞍スカイライン道路除雪・パトロール
8月20日 乗鞍スカイライン開通

乗鞍フォーラム 乗鞍岳散策ツアー
9月28日 参加者 42名

乗鞍山麓五色ヶ原の森
営業期間 5月20日 ～ 10月31日
入山者数 2,986名（R5年3,815人）

2 飛驒山脈ジオパーク推進事業

- 内 容 一般財団法人飛驒山脈ジオパーク推進協会と連携を図りながら、地形地質、自然、観光の融合による自然体験プログラムの実施など、新たな魅力、創造、発展につながる事業により、持続可能な地域づくりを推進
- 実 績 一般財団法人飛驒山脈ジオパーク推進協会
環境省受託事業
平湯地域子どもパークレンジャー事業 10月19日 市内小学4年生～6年生 17名参加
中部山岳国立公園活性化推進協議会受託事業
ジオ教育講座の開催 3回（栃尾小、本郷小、丹生川中）
ジオエリア体験ツアー 10月24日 宮中学校 にじ色教室 参加者 14名
ジオパーク構想プロモーション
さるぼぼ8月号
ヒッツFM
名古屋市集客施設においてチラシ配布等（見込み）
ジオサイトYouTube映像作成、配信 3本（見込み）

3 白山ユネスコエコパーク推進事業

- 内 容 平成28年3月に白山ユネスコエコパークが拡張登録され、荘川町全域が対象地域になったことを契機に、市民に白山ユネスコエコパークに関する理解促進を図る
- 実 績 ・ 荘川小学校生との山中峠ミズバショウ湿原に関する講話・現地観察（岐阜大学協力）
・ 荘川町民と荘川小学校児童及び・荘川中学校生徒による白山に関する学習（白山登山体験）
・ 荘川小学校児童と飛驒高山高校環境科学科生徒による「カラマツコンテナ苗の補植活動」
（飛驒高山森林組合協力）

4 岐阜県中部山岳国立公園活性化推進協議会

- 内 容 「岐阜県中部山岳国立公園活性化基本計画」に基づき、地域一体となった取り組みを推進し、中部山岳国立公園及び周辺地域の活性化を目指す
- 実 績
- ・ 地元団体と連携した各種事業の実施、支援（県と共同）
 - ・ 乗鞍岳エコツーリズム構想の推進
 - ・ 飛騨高山学会自然環境文科会の開催
 - ・ 飛騨山脈ジオパーク推進事業
 - ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森の活用促進事業
 - ・ 乗鞍山麓五色ヶ原の森のガイド人材育成育成
 - ・ 第10回夏山フェスタへの出展（名古屋市） 6月 8日～6月 9日 来場者 5,347名
 - ・ さるぼぼ9月号 乗鞍岳特集
 - ・ トーカイウォーカー2月号 春の奥飛騨特集（見込み）

5 中部山岳国立公園指定 90周年記念事業【新規】

- 内 容 国立公園指定90周年を迎え、4県12市町村が連携し、国立公園の魅力を伝える記念事業を行う。
- 実 績
- 8月31日 誘客等を目的としたプロモーション(チラシ・ノベルティ等配布)
岐阜メモリアルセンター長良川競技場
F C岐阜vs松本山雅F Cの試合前に実施 環境省3名・岐阜県3名・高山市2名
12月7日 総合式典（まつもと市民芸術館） 高山市2名出席

6 特定外来生物防除事業

○内 容 特定外来生物から高山市の生態系や景観を守るため、重点地域において、オオハンゴンソウ、オオキンケイギクの駆除作業を行うとともに、市民に対する防除啓発や防除活動の参加を図る

○実 績 重点地域における特定外来生物の防除の実施

- ①市指定天然記念物「小鳥峠ミズバショウを含む湿原植物群」地域（清見町夏厩地内）
- ②中部山岳国立公園周辺地域（丹生川町久手地内～平湯地内、乗鞍スカイライン手前）
- ③せせらぎ溪谷県立自然公園周辺地域（清見町坂下～大原地内）

防除手法 掘り取り、刈り取り、除草剤散布

防除量 2, 420kg

特定外来生物防除講習会及び出前講座の実施

特定外来生物に関する正しい知識の普及、防除方法の周知、防除活動の拡大を目的に開催

講習会 6月12日・6月13日・6月18日・6月19日・6月27日 80名参加

出前講座 7月3日 6名参加

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 平湯 7月 7日 8名参加 防除量 70kg

オオハンゴンソウ撲滅大作戦 in 清見 7月21日 35名参加 防除量 290kg

特定外来生物防除奨励金の交付

特定外来生物の駆除活動を行った3団体に対し奨励金を交付

防除量 2, 060kg

交付額 34, 600円

2. 地球環境の保全

1 脱炭素先行地域づくり事業【新規】（詳細：資料3）

○内 容 共同提案者が実施する再エネ設備整備事業（小水力発電所整備、木質バイオマス熱電併給設備導入）及び普及啓発事業（再エネ自給率 見える化サービス、セミナー・特設ホームページ）に対する補助

○実 績

- ・ 再エネ設備整備事業
 - 小水力発電所整備 10か所（予定）のうち 5か所 測量・設計
 - 二又川、阿多粕上流、黍生川、濁川、水屋ヶ谷
 - 木質バイオマス熱電設備導入 3か所
 - 設計・チップパー機導入・サイロ設置工事
- ・ 普及啓発事業
 - 再エネ自給率 見える化サービス
 - 脱炭素セミナー 2回（2月1日、2月15日）
 - ホームページ

2 薪ストーブ、ペレットストーブ及びボイラー導入に対する補助事業

○内 容 地球温暖化対策の一環として、市民、事業所による新エネルギーの利用を促進し、低炭素社会の構築と市内の地域経済の活性化に資するため、木質バイオマスを燃料とするストーブ、ボイラーの購入に要する経費の一部を助成

○対象者 市民、市内に事業所を有する事業者、町内会

○助成概要 ①ペレットストーブ等導入促進補助金
ペレット・薪ストーブの購入に対する助成
本体購入経費の3分の1以内の額 上限 100千円
②ペレットボイラー等導入促進補助金
ペレット・薪・チップボイラーの導入に対する助成
設備費及び工事費の3分の1以内の額 上限 300千円
ただし、出力4万kcalを超える大型ボイラー 上限5,000千円

○実 績

ペレットストーブ	6台	599千円	
薪ストーブ	37台	3,675千円	
合 計	43台	4,274千円	※1月末現在

3 高山市自家消費型太陽光発電設備等導入事業補助金

○内 容 脱炭素の推進と災害時の安心安全を確保するため、住宅の太陽光発電設備や蓄電池の設置に要する経費の一部を助成

○助成概要 太陽光発電設備 70千円／kWと価格（工事費込み・税抜き）（円／kW）とを比較して少ない方の額
・上限5kW
蓄電池 価格（工事費込み・税抜き）の1／3の額・上限5kWh

○主要要件 ・市民が自ら居住する住宅が対象（別荘などは対象外）
・FIT制度やFIP制度の認定（売電）や自己託送を行わないもの
・発電した電気量の30%以上を太陽光発電設備を設置した住宅の敷地内で自ら消費すること

○実績	太陽光発電設備	21件	7,140千円	
	蓄電池	16件	4,081千円	
	合 計	37件	11,221千円	※1月末現在見込

4 匠の家づくり支援事業【拡充】

○内 容 市産材の需要拡大及び地場産業の活性化を図り、高山市の健全な森林づくりを推進する

○助成概要 建築主や建築場所により補助のタイプが異なり、以下の３種類に分かれている

タイプ	市内建築主(市内)型	市内建築主(市外)型	市外建築主型
補助対象者	建築主	建築事業者	
建築主	市民又は市内法人		市外の個人又は市外法人
建築場所	市内	市外	市内・市外
補助内容	主な構造材への市産材の使用量 に応じ1 m ³ あたり2万円	主な構造材への市産材の使用量に応じ、1 m ³ あたり2万円をかけた額を上限として、建築事業者が建築主に贈呈する目的で市産家具などの木製品を購入した額	
	主な内装材への市産材の使用量に応じ1 m ² あたり2千円		
補助限度額	30万円		
建物の種類	住宅、別荘、店舗、事務所等		

○主要要件 ・ いずれのタイプも、主な構造材に市産材を60%以上使用することが要件

・ 市内に本店、支店又は営業所がある工務店が建築する建築物

・ 市税の滞納者でないこと

○実績 棟数 88棟（うち内装材2棟） 交付額 22,100千円 ※2月末現在見込

5 「積みマイカー」間伐材収集運搬事業

○内 容 市がN P O法人 活エネルギーアカデミーと連携し、木の駅に集積された間伐材等を収集し、市内のエネルギー原料加工所へ運搬する事業 これらにより、林地残材の有効活用及び市内でのエネルギー活用を図る

○実 績 198.78t
1,492千円 ※1月末現在

6 水銀灯のLED改修事業(スポーツ施設)

○内 容 スポーツ施設における水銀灯のL E D改修

○実 績 【工事完了】
岡本テニスコート、中山テニスコート、久々野総合運動公園グラウンド

【年度内工事完了予定】
丹生川運動公園グラウンド、清見グラウンド、日枝中学校グラウンド、松倉中学校グラウンド、東山中学校グラウンド、国府中学校グラウンド、国府小学校グラウンド

7 防犯灯設置事業補助金

○内 容 町内会が管理する防犯灯の新設に対する補助

○助成概要 町内会が維持管理する防犯灯新設に係る経費の一部を助成

○実 績 申請件数 11件 203千円 ※1月末現在見込

○その他 令和4年度で改修、撤去に対する補助は廃止
※制度創設当初の運用期間を超えていること、LED化率が97%を超え一定の役割を終えたと判断

8 環境に配慮した小学校・中学校大規模改修事業

○内 容 ・ 荘川義務教育学校（校舎、屋内運動場）及び東山中学校屋内運動場の長寿命化改修にあたり、節水型トイレの設置、照明のLED化、内装の木質化等を実施

○実 績 ・ 荘川義務教育学校校舎、屋内運動場
令和7年3月 完成予定
節水トイレ（洋25 小14）・照明LED化・内装木質化を実施
・ 東山中学校屋内運動場
令和6年6月 完成
節水トイレ（洋6 小4）・照明LED化・内装の木質化を実施

9 自然エネルギー導入支援事業

- 内 容 ①町内会等に対し、アドバイザーの派遣、調査設計（基本設計）に要する経費の助成、自然エネルギー活用支援資金融資などによる支援を実施する
- ②講師を招き、自然エネルギーについて学習し、知識を得る研修機会を提供する
- 実 績 ①アドバイザー派遣等
なし
- ②自然エネルギーの地域利用推進研修会
- | | |
|-----|------------------|
| 開催日 | 令和7年2月4日 |
| 講 師 | 飛騨高山電力(株) 森本 創 氏 |
| 会 場 | 高根支所 1階会議室 |
| 参加者 | 21名 |

10 森林整備におけるカーボンオフセット事業（都市部との連携）

- 内 容 千代田区との共同による森づくり、市内の森林整備（間伐）を行うことで、森林の二酸化炭素吸収により温暖化対策に寄与するモデルの推進
- 実 績 ・「2050年脱炭素社会実現に向けた連携協定」（令和4年4月締結）に基づき、カーボンオフセットによる森林整備を実施
- | | |
|-----|---------|
| 間 伐 | 16.77ha |
| 事業費 | 7,018千円 |
- ・千代田区民と高山市民向けの森林林業体験交流ツアーを実施（7月）
- | | |
|-----|---------|
| 事業費 | 1,617千円 |
|-----|---------|

3. 快適な生活環境の確保

1 新ごみ処理施設建設事業

○内 容 新ごみ処理施設の建設工事

※（令和4年度～令和7年度）153億円

○実 績 ごみ処理施設建設工事施工中（令和8年2月 完成予定）
進捗率 45.32% ※1月末現在

2 ごみ分別アプリ「さんあ〜る」配信

○内 容 3R（Reduce[廃棄物の発生抑制]、Reuse[再使用]、Recycle[再生利用]）のさらなる推進、適正なごみの分別収集の促進によりごみの減量化・資源化を図るスマートフォンアプリ
（ごみの収集日や分別方法などを手軽に確認できるスマートフォンアプリの配信を令和2年8月1日より開始）

○実 績 利用者 8,535名 ※1月末現在

3 家庭用生ごみ堆肥化装置設置補助金

- 内 容 ごみの減量化対策として、家庭の台所から出る生ごみの家庭内処理を推進するため、家庭用生ごみ堆肥化等装置の購入に対し補助金を交付
- 実 績 令和6年度見込み 52件 ※1月末現在
 令和5年度実績 30件

4 環境配慮事業所認証制度

- 内 容 環境配慮事業所の認証
- 実 績 5事業所を認証 計12事業所

5 環境保全型農業推進事業【拡充】

- 内 容 環境保全型農業に取り組む農業者に対する補助等
- 実 績 環境保全型農業直接支払事業
- 3団体 ※1月末現在見込
- | | | | |
|------|----|--------|---------|
| 有機農業 | 面積 | 1,498a | 1,891千円 |
| 堆肥 | 面積 | 5,646a | 2,484千円 |

4. 豊かな社会環境の整備

1 歴史遺産等保存活用事業

○内 容 語り部養成講座の開催、文化財周知説明板の整備、天然記念物等の維持管理及び実態調査の実施

○実 績 語り部養成講座 4回開催（3月に第4回開催予定）

文化財周知説明板を3箇所設置

①市指定天然記念物「宮川のアジメドジョウと座禅石」

②市指定文化財「三木祖霊社」

③市指定天然記念物「一位の樹」

委託費 347千円

2 指定文化財保存修理事業

○内 容 国指定天然記念物「臥竜のサクラ」の保護対策工事、市指定天然記念物「塚腰のマツ」の保護処置等に対する補助

○実 績 ・指定文化財の保存修理

国指定天然記念物「臥竜のサクラ」

工事費 2,849千円

・指定文化財の保存修理に対する助成金の交付

市指定天然記念物「塚腰のマツ」

交付額 89千円（予定）

5. 環境にやさしい人づくり

1 河川水質調査（カワゲラウォッチング）

○内 容 小学生に身近な河川の水質を知ってもらうとともに、調査の体験を通じて水質保全の重要性を認識してもらう

○実 績 開催日 7月23日
参加者 64名（保護者含む）
水質判定結果 全地点で4段階中のⅠ「きれい」

2 高山市快適環境づくり市民会議

○内 容 市民、事業者、団体、行政が一体となって高山市の環境保全に関する取り組みを行う組織の運営と、皆が気持ちでつながれるよう、様々な行事や活動、広報誌の作成・配布を行う

○実 績

- ・ グリーンマーケット 6月22日 来場者 約500名
- ・ オオハンゴンソウ撲滅大作戦 7月21日 清見町（高山市と共催） 参加者 34名
- ・ クリーン作戦 10月19日 参加者 80名、ごみ収集量 25kg
- ・ 快適環境だよりの発行 2回
- ・ 推進委員会 2回開催（4月24日、9月24日）
- ・ 推進大会 11月3日 一之宮町 位山交流広場 参加者 17名

3 自然環境学習

○内 容 市内小中学生に豊かな自然を有する森に入山し、自然を体感することを通じて、生物多様性や自然環境に対する理解を深め、郷土への愛着形成を図るため、乗鞍山麓五色ヶ原の森や、市内にある国立・県立自然公園などにおいて、専門ガイド（森の案内人など）の説明を受けながら、生物多様性や自然環境など学校等の授業の一環として環境学習を実施

○実 績 乗鞍山麓五色ヶ原の森 参加者：220人（4校）
岐阜県立自然公園等 参加者：15人（1校）

4 飛騨高山・山の自然学校

○内 容 地元の自然について、直に触れ説明を受けることで自然保護に対する関心を引き起こすとともに、郷土の自然とその保全に関する知識を養うため、季節に合わせたフィールドや内容で自然観察会を開催

○実 績	① 第1回	新穂高	5月18日	9名参加
	② 第2回	城山	6月29日	14名参加
	③ 第3回	乗鞍	7月27日	中止（乗鞍スカイライン開通前のため）
	④ 第4回	位山	10月26日	12名参加